

堀切地区まちづくりメンバー大募集！！

平成 22 年度から、新たな体制で具体的なまちづくりを進めるにあたり、一緒に取り組む地元住民の方々を募集しています。

今年度、第 1 回目の話し合いの場である「堀切地区まちづくり推進協議会」を下記のように開催します。参加希望の方は下記の連絡先まで、ぜひご連絡ください！

堀切地区まちづくり推進協議会

どなたでも
参加できます
ぜひ参加してください！！

日 時: 8月26日(木) 午後7時～
会 場: 堀切地区センター 3階多目的ホール(堀切3-8-5)

連絡先: 堀切地区まちづくり推進協議会準備会事務局
葛飾区都市整備部街づくり推進課(小野田、石田)
代表 03-3695-1111 (内線 2508)
直通 03-5654-8391

《平成 22 年度からの活動》

「まちづくり検討協議会・勉強会」を「まちづくり推進協議会」に一新！

(仮称) 橋梁架替の機会を活かしたまちづくり検討部会

堀切四丁目地区をモデルに、駅前も含めたまちづくり計画の作成

活性化まちづくり検討部会

堀切地区全体を対象に地域活性化モデルプロジェクトの検討・実施

防災まちづくり検討部会

「堀切型防災まちづくり」の計画の作成(堀切二丁目周辺地区をモデルに)

運営体制

堀切地区まちづくり推進協議会

防災まちづくり
検討部会

活性化まちづくり
検討部会

(仮称)
橋梁架替の
機会を活かした
まちづくり
検討部会



～堀切地区のまちづくりに関する問い合わせは、下記にお願い致します～



堀切地区まちづくり推進協議会準備会事務局

葛飾区 都市整備部 街づくり推進課(小野田、石田)
代表 03-3695-1111 (内線 2508)
直通 03-5654-8391

堀切地区 まちづくりニュース

第 10 号 平成 22 年 7 月

発行: 堀切地区まちづくり推進協議会準備会

堀切地区まちづくり構想を区長へ提出しました！！

検討協議会と勉強会が約 4 年間かけて検討してきた「まちづくり構想」を、4 月 8 日、区へ提案しました。

この提案は防災・活性化・橋梁架替の 3 つのテーマで検討してきたもので、今後この構想を葛飾区と協力して進めていくために、協議会・勉強会メンバーが直接、区長へ提出したものです。

平成 22 年度からは、このまちづくり構想をもとにした具体的なまちづくり活動を、新たな体制で進めます。

そこで、より多くの住民の方々と一緒にまちづくりを進めていくため、新たなメンバーを募集します。(詳細は 4 ページ参照)



区長へ提出した時の様子

堀切地区 まちづくり構想

まちづくり構想とは

これから具体的なまちづくりを進めることを、区や地区住民、そして様々な関係機関へ「宣言」するものです。また、これから取り組むまちづくり活動の「基本的な考え方」を示すものです。

堀切の魅力を活かしたまちづくりに取り組みます！

明治時代に見られた天祖神社から流れる水路の跡や菖蒲園、昭和初期に形づくられた商店街の街並みなど、それぞれの時代の面影を残した街並みが、今の堀切の魅力を生み出しています。

まちの魅力

- ・下町風情の街並みが残る、歩いて楽しいまち
- ・自然や緑が身近に感じられるまち
- ・地域シンボルがあるまち



心配事

- ・密集市街地なので災害が不安
- ・資源を活かしきれていない

なりわいの魅力

- ・身近な商店街があるまち
- ・ものが生み出されるまち
- ・伝統工芸が息づくまち



心配事

- ・商店街に元気がない
- ・店舗や町工場の減少

人の魅力

- ・豊かな地域コミュニティがあるまち
- ・まつりのあるまち
- ・まちづくりに対する住民熱意が高いまち



心配事

- ・高齢化や若者の定住人口の減少により活気がなくなっている

まちづくりの理念(合言葉)

誰もが、堀切の魅力を楽しみ、住み続けられるまちづくり

まちの将来像

- ・生まれたときからお年寄りになっても、誰もが地域の中でつながりやいきがいをもちながら暮らし続けられるまち
- ・地域の自然、歴史、文化など、誰もが今ある魅力を楽しめるまち
- ・災害による被害を受けにくく、誰もが安全・安心に住み続けられる、生き残れるまち

将来像の実現に向けたまちづくりへの取り組み方

- ・今の堀切のまちの魅力の強化・継承とまちの改善の両立を図りながら、まちづくりに取り組みます。
- ・行政と協働でまちづくりに取り組みます。
- ・住民が主体的に関わるまちづくりに取り組みます。

テーマごとの方針

防災まちづくり

基本的な考え方

1. 今のまちの魅力を活かし、震災後も次世代へ魅力を継承できる『防災まちづくり』の推進
2. 震災が起ころうとも、自宅で住み続けられる『防災まちづくり』の推進
3. いざという時は、逃げられる・救出できる『防災まちづくり』の推進

取り組み方針

1. 地区全体にとって大切な防災拠点づくりを進める
2. 大切な防災拠点をつなぐ、大きな骨格とネットワークづくりを進める
3. ブロック(まちのまとまり)単位で、防災課題に応じた防災まちづくりを進める
4. ブロック(まちのまとまり)が担う役割を意識した防災まちづくりを進める



地域活性化まちづくり

活性化まちづくりの目標(合言葉)

地域の“暮らしやすさ”につながる活性化

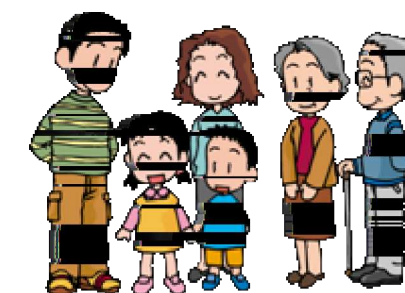
堀切を暮らしの舞台とする人(住む人、働く人)が満足できる、暮らしやすい、暮らして楽しい、暮らし続けられるまちを目指す取り組み(堀切のまちの中で、人が楽しく動きまわっているのが“地域の活性化”)

活性化まちづくりのテーマ(必要なこと、取り組みたいこと)

1. 多くの人に堀切の“まちの成り立ち”を伝え、感じさせよう
2. 堀切の暮らしを支え豊かにする“なりわい”を根付かせよう
3. “高齢者”も、まちなかで活動し続けられるようにしよう
4. “若い世代”を増やし定着させていこう

活性化まちづくりの実現に向けて(取り組みの進め方)

- ・歩いて暮らせるまちなかをつくる～回遊性+住まいづくり～
- ・まちの魅力をつなぐ～骨格づくり～
- ・活性化の取り組みを広げる～人づくり～



橋梁架替の機会を活かしたまちづくり

基本的な考え方

国土交通省が計画している京成本線荒川橋梁架替事業実施にあたって、周辺地域への最大限の配慮を求めると同時に、周辺地域においてもこれを機に地域の様々な問題の解決に向けたまちづくりに積極的に取り組み、この事業の機会を地域のために最大限に活用していくことを目指す。

取り組み方針

1. 京成本線荒川橋梁架替事業に対する地域への配慮・協力の要請
地域のより良い環境づくりを進めるきっかけとしていくため、国土交通省・京成電鉄に対し、周辺地域および堀切地区全体のまちづくりへの最大限の配慮と協力を促す。
2. 沿線地域におけるまちづくり活動の展開(堀切四丁目地区をモデルに)
橋梁架替事業を機に効果的な連携を図りながら、地元住民が中心となって防災対策や商店街活性化対策などの課題の解決に向けたまちづくり活動を展開し、堀切地区全体としても、その活動に積極的な支援・協力をしていく。
3. 駅周辺の再整備と駅の高架化への取り組み
線路の高架化により生じる高架下の空間を有効に活用しながら、駅周辺街区の再整備に取り組み、併せて京成電鉄との協議・協力により駅舎の改修と高架化の実現を図る。

